

宮城県仙台圏域 (岩沼管内)

市町の実組を主体とした管内全体での「にも包括」の推進

岩沼管内では、令和6年度に管内の協議の場を設置し、管内市町の「にも包括」にかかる取組状況を互いに共有し合う場面になりました。また、管内全市町に協議の場が設置されました。

令和7年度は、「にも包括」の構成要素別に管内の地域アセスメントを行い、課題抽出、レベルの整理をするなど、岩沼管内の実情を踏まえた課題の整理を行い、関係機関間での共有および連携強化を図って、地域全体での支援体制の在り方を検討します。

1 圏域の基礎情報

宮城県



基本情報

障害保健福祉圏域数（R7年4月時点）	1	か所
市町村数（R7年4月時点）	4	市町村
人口（R7年4月時点）	166,585	人
精神科病院の数（R7年4月時点）	5	病院
精神科病床数（R7年4月時点）	758	床
入院精神障害者数 （R7年4月時点）	合計	610 人
	3か月未満（％：構成割合）	158 人 25.9 %
	3か月以上1年未満（％：構成割合）	109 人 17.9 %
	1年以上（％：構成割合）	343 人 56.2 %
	うち65歳未満	125 人
	うち65歳以上	218 人
退院率（R3年）	入院後3か月時点	%
	入院後6か月時点	%
	入院後1年時点	%
相談支援事業所数 （R7年4月時点）	基幹相談支援センター数	3 か所
	一般相談支援事業所数	18 か所
	特定相談支援事業所数	25 か所
保健所数（R7年4月時点）	1	か所
（自立支援）協議会の開催頻度（R6年度）	（自立支援）協議会の開催頻度	27 回／年
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有・無
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R7年3月時点）	都道府県	有
	障害保健福祉圏域	有 1 / 1
	市町村	有 4 / 4

2 精神障害にも対応した地域包括ケアの構築支援事業 実施前の課題・実施後の効果等

＜令和6年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R6年度当初)	実績値 (R6年度末)	具体的な成果・効果
仙台圏域岩沼地域事務所 管内での協議の場の設置	未設置 ↓ 設置	未設置 ↓ 設置	管内市町の実施状況を把握している密着アドバイザーと随時相談し、管内市町のヒアリングや市町の協議の場へ参加することにより、岩沼管内の現状に即した協議の場を開催することができた。
管内全市町への 協議の場の設置	2市1町 ↓ 2市2町	2市1町 ↓ 2市2町	新規に設置した町の協議の場開催前から、密着アドバイザーが同席した打合せの機会を持つことができ、岩沼地域「にも包括」の機運醸成を図ることができた。

3 圏域の強みと課題

【特徴(強み)】

- ・管内全市町で、それぞれの実態に合わせた「にも包括」に向けた取組が行われている。
- ・管内市町の活動を主体としつつ、管内全体で「にも包括」を推進できるような協議の場が設置できた。
- ・平時より、個別事例の支援を通じ、多職種が協働した地域連携が行われている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
令和6年度に管内市町の取組状況については共有できたが、岩沼地域事務所管内として取り組むべき課題が明らかにできていない。	「にも包括」の構成要素別に、管内の地域アセスメントを行い、課題抽出、レベルの整理を行う。	行政	協議の場(第一回目)の開催 事前資料、グループワーク、事後検討の実施 密着アドバイザー、広域アドバイザーへの相談
		医療	協議の場への参加、事前意見照会対応
		福祉	//
		その他関係機関・住民等	各市町自立協メンバー:事前意見照会対応
令和8年度以降に進めていく具体的な取り組みについてのコンセンサスを得ていく必要がある。	管内の協議の場にて、地域アセスメント及び課題について地域の支援者と共有する。	行政	地域アセスメント、課題の整理 密着アドバイザー、広域アドバイザーへの相談 協議の場(第二回目)の開催
		医療	協議の場への参加
		福祉	//
		その他関係機関・住民等	各市町自立協メンバー:協議の場への参加

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (R7年度当初)	目標値 (R7年度末)	見込んでいる成果・効果
①第一回協議の場にて管内の課題を支援者と検討	課題収集・整理	課題収集・整理	課題を支援者に見える形で示す。
②第二階協議の場にて地域の支援者に検討結果を共有	未実施	二回開催	管内関係者に、管内として取り組むべき課題をお示し、来年度以降の活動に繋げる。

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

- ・各市町にも包括協議の場において、各々の課題に沿った取り組みを推進
- ・岩沼管内・仙台圏域は、各市町の活動と連動しながら、管内・圏域レベルでのにも包括構築に資する協議を実施

所管部署名	所管部署における主な業務	連携部署名	連携部署における主な業務
岩沼地域事務所	精神保健福祉業務 こころの相談、ハイリスク者支援 支援者支援 管内体制整備 など	各市町	・市町住民の保健や福祉に関する相談 ・支援者支援 など
		県精神保健推進室	精神保健行政の主務課 県全体の協議の場の運営、状況把握
		精神保健福祉センター	技術指導及び支援 人材育成研修等の実施

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	対応困難者や措置入院者等について、定期的な情報共有会議を行い、関係者と積極的に連携している。 定期で相談の場を開設し、個別相談に対応している。	・平時より、積極的な連携のもと、事例を通じた共同支援を行うことができている。
医療	対応困難者や措置入院者等について、定期的な情報共有会議に参加し、関係者と積極的に連携している。 一部市町の協議の場へも参加している。	・平時から、精神科医療機関と保健・福祉の連絡は密に行われており、情報共有が頻繁に行われる関係性にある。 ・市町の協議の場に参加し、顔の見える関係を築けている。 ・精神科クリニックを検討の輪に加えられていない。
福祉	・自立支援協議会(協議の場)の開催運営 ・支援事例について情報共有会議、事例検討会等への参加。	・平時より地域の支援者と事例を通じた共同支援を実施。 ・各市町の協議の場を開催し、関係者と顔の見える関係性を築いている。
その他関係機関・住民等	・市町自立支援協議会の構成メンバーに、管内協議の場へ参加いただいている。	・管内協議の場に同席いただくことで、市町協議の場の活動との連動に繋がり、管内全体の「にも包括」について考えていただくことができる。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等(課題・強み等)
仙台保健福祉事務所 圏域支援会議	管内13市町村	年1回	地域包括ケアシステム構築に向けた検討・取組	市町村数が多く、圏域ごとにこれまでの取組の在り方が異なっている。
仙台保健福祉事務所 圏域支援会議 岩沼部会	管内市町保健・福祉担当者 管内精神科入院医療機関 障害福祉サービス事業所 密着アドバイザー 事務局(岩沼地域事務所) 等	年1-2回	上記内容について、 岩沼管内に特化した形で開催。	・各市町で協議の場を設置しており、 地域の特性に応じた検討を行っている。 ・令和6年度に各市町の取組状況の共有を行った。
精神保健福祉市町担当者会議	各市町保健担当課 福祉担当課 岩沼地域事務所	年1-2回	・各市町、管内の精神保健福祉事業の共有。 ・データや課題、進捗の共有。	・業務内容や課題について情報共有できる場になっている。 ・市町同士、顔の見える関係が構築できており、分からないことは互いに情報交換しあうことができている。

【その他事項】

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（長期）

事業利用予定年数：令和 8 年度まで

長期目標	管内の課題を関係者と協議の上で明らかにし、共有するとともに、解決のためのロードマップを策定して、目標達成に向けた取組を段階的に進める。	
年度	実施内容	具体的な取組
R7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・管内市町ヒアリング ・管内の協議の場の運営 ・市町の協議の場の運営支援 ・課題の整理 ロードマップ作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内市町の「にも包括」への取組状況をヒアリングして回り、協議の場の成り立ちや運営状況、市町の現状を把握する。 ・管内の課題を明らかにし、必要な取組を整理する。 ・市町の協議の場に参加し、取組状況の進捗を把握する。 ・「にも包括」推進のための取組を活用する市町への事業化支援。 ・協議の場で明らかになった課題を整理し、市町に共有する。
R8年度	<ul style="list-style-type: none"> ・課題への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議の場で明らかになった課題の解決に向けて、事業への取組を進める。 ・県(本庁)・圏域との共有、取組の連動。

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（今年度）

短期目標 (今年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・「にも包括」の構成要素別に管内の地域アセスメントを行い、課題の抽出、分類整理を行い、目標設定にむけた基礎資料を作成する。 ・管内の協議の場を開催し、地域アセスメント及び課題について共有する。 	
スモール ステップ	<ul style="list-style-type: none"> ①第一回協議の場にて管内の課題を支援者と検討 ②第二回協議の場にて地域の支援者に検討結果を共有 	
時期(月)	実施内容	具体的な取組
(通年)	<ul style="list-style-type: none"> ・密着ADとの打合せ ・市町協議の場への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・密着ADと事業の進め方について検討、事業の実施 ・管内市町の協議の場に参加し、取組状況の進捗を知る
R7年4月～	<ul style="list-style-type: none"> ・管内市町ヒアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内市町に出向いて「にも包括」の取組状況をヒアリングし、協議の場の運営や検討の状況を把握する
R7年8月	<ul style="list-style-type: none"> ・第一回岩沼管内協議の場 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内支援者を参集し、グループワークを実施
R7年8月～	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り・課題の整理 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を抽出、階層別に整理し、優先順位を検討 ・所内にて検討後の整理
R7年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・管内市町担当者会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一回協議の場の検討結果の一次共有
R7年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・第二回岩沼管内協議の場 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一回協議の場の結果を支援者に共有 ・地区診断情報の提供。令和8年度の取組説明 ・各市町の令和7年度取組紹介